

「マイ弁当の日」報告

「マイ弁当の日」取り組みへの思い

子どもの頃に保護者の方と一緒に作ったおべんとう。

それは一生の思い出になるのではないのでしょうか。はじめて作った卵焼き、熱いのをがまんして一生懸命握ったおむすび、うっかり焦がしてしまった焼魚、思ったより上手にできた炒め物や煮物、どんなお弁当ができたかな。

子どもの成長はあっという間です。子どもと向き合い、いろいろなことを伝えていく中で、子どもと一緒に料理をする楽しさは、いがいと忘れていないかと思えます。この「マイ弁当の日」が皆様のご家庭に、温かさとたくさんの感謝を運んでくれることを節に願います。

この企画にご賛同・ご協力いただきました皆さまに感謝申し上げます。すべてのご家庭が幸福に包まれますことを祈念いたします。

福井市PTA連合会会長 水島 秀晃



「マイ弁当の日」に取り組んで

家庭教育委員会では、今年度もEブロック各校のご協力をいただき、子供たちがメニューの考案から調理までを自分で行う「マイ弁当の日」に取り組みました。お弁当づくりを通じて「食」への関心と感謝の気持ちを育むことができ、親子の絆も深まると毎年好評をいただいている企画です。

5年目となる今年度は、新たな取り組みとして「地産地消」の要素を取り入れてみました。子供たちが自ら「地産地消」に向き合うよいきっかけになると考え、何か一品でも地元の食材を使用してもらおうようお願いしました。

アンケートを読んでいると、子供たちがお家の方と一緒に考え、工夫しながら一生懸命お弁当づくりにチャレンジしてくれたことが伝わってきました。子供たちの成長を実感できたという保護者の方の声も多く、「マイ弁当の日」が子供たちにとって非常に有意義な企画であることをあらためて実感しました。今後、県内各地域の学校でもぜひ取り組みをご検討いただけたらと思います。

最後に、「マイ弁当」の取組みに多大なるご協力をいただいたEブロック各校のPTAの皆様、保護者の方々、先生方に厚く御礼申し上げます。

家庭教育委員会委員長 上田 一史

長橋小



Ans.1
のりをハートや星の形にして飾ったところと米や野菜は家でとれたものを使ってサラダにしたところです。
(5年女子)

Ans.2
のりやほうれんそうを切るのをおかあさんといっしょにやりました。練習をして自分でできたのでうれしかったです。
(2年女子)

Ans.3
去年よりも手ぎわがよくなり、自分から「次どうしたらいい?」と言ってとても積極的でした。よくがんばって作っていました。
(4年男子)



Ans.1 自慢(工夫)のポイント

Ans.2 自分で作った(手伝った)感想

Ans.3 おうちの方からひと言

国見中



Ans.1
栄養を考え、しっかり三色入れました。ほうれんそうはあまり好きではなかったけれど、ごま和えにすると食べやすかったです。
(1年男子)

Ans.2
お母さんがいつも作っている大変さがわかった。盛りつけが非常に難しかった。
(2年女子)



Ans.3
冷食なしでおいしそうなお弁当が出来上がりました。手際も良くわが家の料理男子です。素敵でした。
(2年男子)